

PC建協第9回定時総会を開催

令和3年5月20日に東京都千代田区のホテルグランドアーク半蔵門で第9回定時総会を開催しました。定時総会後の記者発表では、「令和2年度の受注状況と今後の見通し」、「発注機関との意見交換会(令和3年度)の取組み」、「建設キャリアアップシステム推進への取組み」、「安全への取組み」、「建築への取組み」についての発表を行いました。



▲ PC建協定時総会の様子

第26回参議院選挙に足立敏之参議院議員を推薦

PC建協は、第26回参議院議員通常選挙における建設業界の職域代表候補として足立敏之議員を推薦することを決定し、第9回定時総会後に開催した手交式にて、大野達也会長が足立議員に推薦状を手交しました。



▲ 手交式の様子

発注者との意見交換会が始まる

令和3年7月20日開催の沖縄総合事務局との意見交換会を皮切りに、全国の発注者(国土交通省道路局、各地方整備局、北海道開発局、高速道路(株)、鉄道建設・運輸施設整備支援機構)との意見交換会を行います。沖縄総合事務局との意見交換会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためWEB形式での開催となりました。

《PC建協からの提案》

- ① 年度工事量の安定的な確保
- ・ 年度工事量の安定的・持続的な確保
- ・ 中長期的な事業計画の公表
- ② 働き方改革の推進
- ・ 総労働時間の削減



▲ 沖縄総合事務局との意見交換会の様子

- ・ 技能労働者の処遇改善
- ③ 生産性向上の推進
- ・ プレキャスト化の推進
- ・ ICT活用の推進

- ④ PC橋の長期保全の推進
- ・ PC橋補修工事における技術提案・交渉方式の更なる発注要請
- ・ 地方自治体支援要請

- ⑤ PC建築(PCaPC造の建築)の推進
- ・ 庁舎計画にPCaPC造を推進
- ・ 防災施設(人工地盤、避難タワー等)にPCaPC造を推進

褒章・受賞

- 令和3年春の褒章
- 黄綬褒章 藤田 公康 理事



▲ 藤田公康 極東興和株代表取締役社長、(株)ビーアールホールディングス代表取締役社長

PC建協理事、保全補修委員会副委員長である、藤田公康極東興和(株)代表取締役社長、(株)ビーアールホールディングス代表取締役社長が、令和3年春の褒章において、社業の発展ならびに業界団体の発展に寄与した功績に対し、黄綬褒章を受章されました。

●令和2年度土木学会

吉田賞 二羽淳一郎 理事



▲二羽淳一郎 東京工業大学
名誉教授

PC建協理事、技術委員会副委員長である、二羽淳一郎東京工業大学名誉教授が、土木学会吉田賞の研究業績部門「鉄筋コンクリート構造のせん断耐荷機構の解明と性能向上に関する研究」、および論文部門「圧縮フランジの抵抗力を考慮したT形RCはりのせん断耐力の評価方法」において受賞されました。

第28回PC建築技術講習会を開催

昨年、新型コロナウイルスの影響により中止となった「第28回PC建築技術講習会」が、令和3年6月11日にオンライン形式で開催されました。講習会参加登録者数は、913人でした。各講習の演題（建築物）と講師は次のとおりです。

- ①宮古島市未来創造センター
(有)アトリエ・門口 砂川佳久
- ②川口市新庁舎I期棟
(株)山下設計 加藤光、曾根拓也

③北区立田端中学校

シーラカンズK&H(株) 渡邊祐宏、
(株)KAP 萩生田秀之

- ④花園ラグビー場
(株)梓設計 松浦厚、土生達哉

第11回PC建協業務報告会を開催

令和3年7月15日に「令和3年度第11回PC建協業務報告会」を開催しました。前回に続いてPC建協会議室からのライブ動画配信によるオンライン開催としました。当日の発表は次のとおりです。

- ①「やさしいPC橋の設計」の改訂と平成29年道路橋示方書への対応と
- ②撤去橋梁を用いた既設PC橋の補修補強技術の高度化に関する共同研究の成果報告
- ③新設PC橋の品質・信頼性向上方法の構築に関する共同研究の中間報告
- ④一般公開用橋梁DBについて
- ⑤緊張防護板の検討実験の結果について
- ⑥建築物へのPCaPC造の活用事例と構造デザインを重視したPCaPC造の適用例と

その後、松田和香氏(一財)日本み

ち研究所(理事)により「『女性』が特別にならない業界へ」と題した特別講演をいただきました。

PC建協書籍の紹介

PC建協は、特に学生や若い技術者を対象とした書籍「やさしいPC橋の設計」プレテンション方式PC単純スラブ橋」を、このほど発行しました。「やさしいPC橋の設計シリーズ」の第2弾で、「H29道路橋示方書・同解説IIIコンクリート橋・コンクリート部材編」を中心とするPC橋設計の基本事項、および通りの設計手順に対する理解が進むように、プレテンション方式PC単純スラブ橋の設計例の解説を中心に実習形式でまとめています。

書籍の詳細や購入方法については、PC建協ホームページをご覧ください。

<https://www.pcken.or.jp/activities/publicinfo/>



▲やさしいPC橋の設計～プレテンション方式PC単純スラブ橋～

(東北支部)

令和3年度EE東北21に出展

建設事業の新材料や新工法などの展示会「EE東北21」が令和3年6月2日～3日の2日間、仙台市の夢メッセみやぎで開催されました。30回目を迎えた本年は9900人の来場とWEBを利用したバーチャル展示に6600人のアクセスがありました。

本年もPC建協東北支部はブース出展し、「時代のニーズに応えるUコンポ橋」と題して、模型やパネルなどを展示しました。

(四国支部)

香川高等専門学校へPC板とゴム支承を寄贈

令和3年5月21日にPC建協四国支部はPC教育の学校支援の一環として、香川県高松市の香川高等専門学校にPC板5枚、および東京ファブリック工業(株)にご提供いただいた橋梁用ゴム支承5セットを寄贈しました。これは同校からのPC教材の提供依頼に応えたものです。同校でのPC教育の進展が期待されます。

各地でPC技術講習会を開催

PC技術に関する講習会が各地で開催されました。

(北陸支部)

令和3年5月27日にオンライン形式で行われたNEXCO中日本金沢支社の社内技術講習会で、グループ企業の職員20人を対象にPC橋の保全補修に関する講習を行いました。当日はPCアシスタント(PC構造物の計画・設計・施工・維持管理および積算を網羅したハンドブック)の紹介、PCの概要と既設PC橋の調査補修のポイントを解説しました。

その他

- ・青森県建設技術センター 青森県橋梁技術研修会 県市町村土木技術職員35人
- ・新潟県新潟市役所 令和3年度新潟市職員研修(橋梁ワーキング) 市職員21人

PC技術専門家を派遣

PC建協では多くの学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的にPC技術専門家派遣事業を展開しています。

(北海道支部)

令和3年7月14日と28日の2回にわたり、北見工業大学工学部地域未来デザイン工学科および地球環境工学科の3年生105人を対象に「PCセミナー」をオンライン形式で開催しました。例年「北海道土木技術会コンクリート研究委員会」との共催で、道内5大学・2高専を対象に実施しています。今回のセミナーもその一環で、PCの概要やPC技術を用いた構造物の紹介、道内のコンクリート橋の紹介をしました。

(関東支部)

令和3年6月25日、東京電機大学理工学部建築・都市環境学系の3年生63人を対象に「PC講座」と題した講義を実施しました。

講義では、PC橋の種類や架設・施工方法の紹介、PC技術を用いた構造物、補修・補強の技術紹介の説明を行いました。

(関西支部)

令和3年6月14日、明石工業高等専門学校(4年生39人)に社会基盤マネジメント講習の一コマとして「PC特別講義」を実施しました。講義では、PC建協とPC業界、PC企業との業務内容の紹介やPCの基本的な説



▲明石工業高等専門学校での講義の様子

明を行いました。

(中国支部)

令和3年7月15日、岡山大学工学部環境・都市基盤系都市環境創成コースの3年生40人を対象に「PC概論講座」を実施しました。講義ではPC部材の曲げ応力度の計算、組立式模型を使ってPC橋の施工の模擬体験、PC板の上を飛び跳ねてプレストレス力による復元力を体験などを行いました。

(九州支部)

令和3年6月16日と23日の2回にわたり、九州大学工学研究院の1、2

年生35人を対象に、オンライン形式でPC技術の講義を実施しました。講義ではPCの基礎や設計、施工、維持管理の説明をしました。

その他、令和3年3月以降に実施されたPC技術専門家の派遣講義は次のとおりです。

開催日	支部名	学校名
5月18・21日、7月12・27日	関東	日本大学生産工学部
5月27日	関西	神戸大学工学部
6月8日	関東	足利大学工学部
6月16日	北陸	福井工業大学工学部
6月17日	関東	東京都市大学建築都市デザイン学部
7月2日	北陸	富山大学
7月6日	北陸	長岡技術科学大学環境社会基盤工学課程
7月7日	関東	東洋大学理工学部
7月16日	九州	宮崎大学工学部
7月19日	九州	九州工業大学工学研究院建設社会工学研究系
7月19日	九州	琉球大学工学部
7月19・26日	九州	佐賀大学理工学部

全国から開通情報

(中部支部)

名古屋第二環状自動車道(名古屋西JCT)～飛鳥JCT) 開通



▲名古屋第二環状自動車道 飛鳥村木場区間

令和3年5月1日に名古屋第二環状自動車道(名二環)の名古屋西JCT)～飛鳥JCT(延長12・2km)が開通しました。これにより名二環(総延長54・3km)は全線開通となり、物流効率化や防災力向上などが期待されます。

(九州支部)

福岡県道高田山川線バイパス 開通

令和3年3月30日に福岡県みやま

市の福岡県道高田山川線バイパス(延長730m)が開通しました。

今福陸橋での開通式には自治体関係者などが参加し、テープカットや渡り初めなどで開通を祝いました。



▲福岡県道高田山川線バイパス 今福陸橋

その他

- ・三陸沿岸道路 田野畑道路(田野畑南)～尾肝要)
- ・東北中央自動車道(霊山IC)～伊達桑折IC)
- ・常磐自動車道(いわき中央IC)～広野IC)4車線化
- ・国道415号富山東バイパス(富山市森)～下飯野地内)
- ・福岡高速6号線・臨港道路アイランドシティ3号線(香椎浜JCT)～アイランドシティ)

第30回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム開催のお知らせ(オンライン開催形式)

(公社)プレストレストコンクリート工学会は令和3年10月21日と22日の2日間にわたり、「第30回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」をオンライン形式で開催します。

本シンポジウムは学術・技術に関する価値ある情報を講演者と参加者が共有し、PC技術をさらに発展させることを目的としています。

当初は北海道函館市の函館アリーナで開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン形式に変更となりました。これに伴い、技術展示、技術紹介、閉会式、懇親会、現地見学会は本年も中止となります。

詳細は(公社)プレストレストコンクリート工学会ホームページをご覧ください。

<http://www.jpcci.or.jp/>

編集委員会

柳橋 則夫(編集委員長)、石井 一生(副委員長)、
吉山 誠之(副委員長)、湯山 芳夫、大信田 秀治、鈴木 裕二、
竹本 伸一、大塚 俊介、太野垣 泰博

編集幹事会

荒畑 智志(幹事長)、小谷 仁(副幹事長)、瀬戸 裕一郎(副幹事長)、
阪田 憲一、沖 純子、川上 裕佳、栗川 修、中西 正継、木村 良輔、木下 拓三、
勝野 源基、岡本 修一、直井 秀市、関地 正幸、武内 涼太郎、坂田 貴俊

編集後記

前回の「PCのニューフェイスたち」のご紹介から1年が経ちました。残念ながらコロナ禍は続いており、未だルポは断念せざるを得ない状況にあります。が、明るいニュースとして、日本における本格的なポストテンション方式PC橋梁の先駆けであります信楽高原鉄道(しがらきこうげんてつどう)の第一大戸川橋梁が令和3年8月に国の重要文化財に指定されました。これを受け、東日本旅客鉄道(株) 構造技術センター顧問の石橋様に特別寄稿を頂きました。第一大戸川橋梁から続くPC技術発展の成果というべき令和2年度に誕生した「PCのニューフェイスたち」を厳選し今回は19作品を紹介しております。本号を通してPC技術やPC構造物の素晴らしさと歴史を感じて頂けると、私たち編集関係者も嬉しく思います。

最後に、PCプレス vol.003とvol.006の記事「PC今昔」に、特別寄稿文中で紹介されています仁杉 巖様と菅原 操様に直接伺ったお話を掲載しておりますので、PC建協ホームページのバックナンバーをご覧になり併せてお楽しみ願います。(岡本)